

(財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター

設立25周年記念 特別展

そして

『王』

になった。

— 京都 古代国家への道 —

日時：平成17年9月23日(金)～10月23日(日)

主催 京都府教育委員会
(財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター
協賛 向日市文化資料館



特別展の開催にあたって

昭和56(1981)年4月に業務を開始しました(財)京都府埋蔵文化財調査研究センターは、設立25周年の節目の年を迎えました。

この四半世紀にあたる25年間に、埋蔵文化財を取りまく社会の状況は大きく変化して、文化財の保存と同時に調査成果の公開や活用を図ることが、より一層大きな課題となってまいりました。

こうした社会の要請に応えまして、当調査研究センターではその設立25周年を記念し、「そして『王』になった。—京都・古代国家への道—」と題する展覧会を開催することにいたしました。

近年、京都府内では、弥生時代後期から古墳時代にかけての巨大な墳丘墓や初源期の古墳の調査が相次いで行われ、古墳の出現から大規模な前方後円墳の築造にいたる様相が明らかになりつつあります。本展覧会では、弥生時代後期から古墳時代に焦点をあて、弥生時代に出現した地域の有力者が、やがて古墳時代の『王』へと変貌をとげる時代の変貌を、府内各地の特色にもとづいて展示します。著名な遺跡や古墳の出土品とのふれあいを通して、埋蔵文化財の保護と活用に寄与したいと存じます。

本展覧会の開催にあたり、共催団体としてご協力いただいた京都府教育委員会、ならびにご協賛いただいた向日市文化資料館、また、貴重な文化財をご出品いただきました府内各市町教育委員会などの各諸機関をはじめ、ご指導、ご協力を賜りました関係者の皆様に心より厚くお礼申し上げます。

平成17年9月

財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター

理事長 上 田 正 昭

凡 例

1. 本図録は、平成17年9月23日～10月23日まで、向日市文化資料館で開催する、(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター設立25周年記念特別展「そして『王』になった。—京都・古代国家への道—」の展示図録である。
2. 開催にあたっては、向日市文化資料館の協賛を受けた。
3. 本図録に掲載した資料は展示品の全てではない。また、展示の都合により員数等が異なる場合がある。
4. 展示品一覧の指定区分は、◎重要文化財、●府指定文化財、○市・町指定文化財、□府登録文化財である。なお、※はレプリカである。
5. 展覧会期間中の10月8日(土)に、シンポジウム「そして『王』になった。」を開催する。
6. 本展覧会に係る資料調査、図録作成、展示資料及び写真等の借用にあたっては、次の機関から御指導、御協力を受けた。(順不同・敬称略) 京丹後市教育委員会・岩滝町教育委員会・加悦町教育委員会・福知山市教育委員会・綾部市教育委員会・丹波町教育委員会・園部町教育委員会・泉屋博古館・向日市教育委員会・(財)向日市埋蔵文化財センター・長岡京市教育委員会・(財)長岡京市埋蔵文化財センター・宇治市教育委員会・城陽市教育委員会・八幡市教育委員会・京田辺市教育委員会・山城町教育委員会・木津町教育委員会・府立丹後郷土資料館・府立山城郷土資料館
7. 本図録の掲載写真は、当センター撮影のもののほかは、上記の各教育委員会および各機関の所蔵である。
8. 本展覧会は、平成17年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

表紙 右：城陽市芝ヶ原古墳出土の四獣形鏡しじゅうけいきょう 左上：園部町黒田古墳出土の双頭龍文鏡そうとうりゅうもんきょう
左下：京丹後市弥栄町大田南2号墳出土の画文帯環状乳神獸鏡がもんたいかんじょうにゅうしんじゅうきょう

おもなできごと			中国	日本	主要な府内の遺跡				
紀元前	B.C.108年	漢の武帝 衛氏朝鮮を滅ぼす 楽浪・真番・臨屯・玄菟の各郡を設置	前漢	弥生時代中期	【丹後】	【丹波】	【山城】		
					奈具岡遺跡 日吉ヶ丘遺跡				
紀元後	A.D. 5年	光武帝即位、後漢成立	新	弥生時代後期	王誕生前夜・そして王になった	三坂神社墳墓群			
	A.D. 14年	新の王莽、貨泉鑄造							
	A.D. 57年	倭の奴国王、光武帝より金印を授かる	後					左坂墳墓群	
	A.D. 107年	倭国王帥升、後漢に朝貢生口160人を献ずる							大山墳墓群
	A.D. 178年	この頃倭国、大いに乱れる 卑弥呼共立 楽浪郡から帯方郡分かれる	漢					大風呂南1号墓	
	A.D. 188年								西谷墳墓群
	A.D. 204年								
	A.D. 220年	魏の建国	三					浅後谷南墳墓群	
	A.D. 239年								卑弥呼、魏に朝貢銅鏡百枚を下賜される
	A.D. 248年	卑弥呼死す、耆与共立	古墳時代前期					湧田山古墳	
A.D. 266年	倭女王、晋に遣使			西晋	大田南5号墳 成山2・3号墳 芝ヶ原古墳				
A.D. 372年	百済の肖古王、七支刀を送る	五東胡十六	浅後谷南遺跡 黒田古墳 椿井大塚山古墳						
A.D. 391年	倭国、朝鮮半島に出兵			晋	上大谷6号墳				
A.D. 413年	倭国、東晋に朝貢	古墳時代中期～後期	白米山1号墳 広峯15号墳 上大谷9号墳						
A.D. 421年	倭王讃、宋に朝貢(倭の五王)			南北朝	蛭子山1号墳 作山1号墳 瓦谷1号墳				
		神明山古墳 今林古墳群 上大谷9号墳							
			私市円山古墳 二子山古墳群 瓦塚古墳						
		時塚1号墳 久津川車塚古墳							
			高山12号墳 塩谷5号墳 堀切7号墳						

(出品していない遺跡を一部に含んでいます)

弥生『王』の出現 —弥生時代中期～後期—

中国では、紀元前221年に始皇帝が秦を建国し中国を統一します。しかし、紀元前202年に前漢、紀元5年に後漢が成立するなど東アジア社会は大いに混乱する時代をむかえます。日本列島における弥生時代はこうした混乱の時代にあたります。

日本海に面した丹後地域では、大型の墳丘墓^{ふんきゅうぼ}が出現します。京丹後市^{なくおか}奈具岡遺跡^{なぐおかのり}では、多量の水晶^{りよくしよくぎょうかいがん}や緑色凝灰岩の玉が生産されます。また、岩滝町^{いわたき}大風呂南墳墓群^{おおぶろみなみ}では、ガラス製釧や多量の鉄製品、京丹後市三坂神社墳墓群でもガラス製の玉や鉄製品が数多く副葬されます。

これらは中国や朝鮮半島との交易を司る『王』が存在したことを物語っています。

◆丹後地域◆

みさかじんじゃ

三坂神社墳墓群

京丹後市大宮町

弥生時代後期初頭に造られた墳墓群で、丘陵を削り出した6つの平坦面に有力者が葬られています。最も大きな王の棺からは、彩り豊かなガラス製管玉^{くだたま}の頭飾りやガラス勾玉^{まがたま}、そして小玉と水晶玉の耳飾りが出土するとともに、朝鮮半島^{そかんとうたち}からもたらされた中国製の鉄製ヤリガンナや素環頭大刀^{すわんとうたち}が出土しています。当時、貴重であったガラス製玉類や鉄製品が出土したことから、海を越えて交易を行っていた『王』の姿が浮かびあがります。



◀ 埋葬施設



被葬者の頭飾り ▶

◀ 列状に並ぶ墳丘墓

【コラム 丹後地域の貼石墓】

近年、与謝郡加悦町日吉ヶ丘遺跡^{ひよしがおか}でみつかった墳墓は、墳丘側面に約50cm大の石が貼られた方形の貼石墓です。最長33m、最大幅22m、高さ2.5mの弥生時代中期後半(紀元前2世紀～紀元前後)につくられた国内最大級の貼石墓です。埋葬施設からは、王の財力の高さを示す460個以上の管玉が出土しました。この墳墓は、丹後地域の弥生王墓の出現を考えるうえで重要な遺跡です。また、貼石墓は野田川町寺岡遺跡^{てらおか}や舞鶴市志高遺跡^{しだか}でもみつかっています。



◆ 丹後地域 ◆

あかさかいまい

赤坂今井墳丘墓

京丹後市峰山町

最長辺37.5m、高さ4mの墳丘をもつ弥生時代後期末では国内最大級の^{だいじょうぼ}台状墓です。6基の埋葬施設があり、第4埋葬施設からは、ガラス製管玉・勾玉や碧玉製管玉でつくられた頭飾り^{へきぎよく}が装着した状態で出土し、鉄剣やヤリガンナなどが出土しました。中央に位置する王の棺は未調査ですが、長さ7m、幅2mの弥生時代では最大規模の木棺が確認されています。被葬者は、朝鮮半島と交易し鉄素材や鉄製品を直接入手できた『王』であったことが推測されます。



◀ 最大級の台状墓

▼ 敷きつめられた朱と頭飾り



あさごだにみなみ

浅後谷南墳墓

京丹後市網野町

かつて^{せきこ}潟湖が存在した^{あさもがわ}浅茂川の河口部の丘陵先端部に位置する一辺20mの墳墓です。中央の^{ふながたもっかん}舟形木棺からは、ガラス製の勾玉や約150点もの小玉、鉄剣などが出土しました。また、中央の埋葬施設の周囲には8基の埋葬施設があり、鉄剣が副葬されていました。



◀ 墳墓からみつかった9基の埋葬施設

▼ 埋葬施設



地域の『王』の台頭—弥生時代終末期～古墳時代初頭—

弥生時代後期から終末期になると、『王』のためにつくられた墳丘墓が出現します。各地域では、中国鏡などが副葬されることや各地域ごとに墳形の異なる大きな墓がつけられます。これら地域色豊かな王墓の出現は、各地域における『王』の台頭を意味します。

◆ 丹後地域 ◆

おおたみなみ

大田南5号墳 京丹後市弥栄町

4基の埋葬施設をもつ方墳で、板石で組まれた『王』の棺には、方格規矩四神鏡や鉄刀などが副葬されていました。鏡には、三国時代・魏の年号である『青龍三年』(235)銘が記されており、年号のある鏡の中では国内最古の鏡です。銘文は『青龍三年 顔氏作鏡成文章 左龍右虎辟不詳 朱爵玄武順陰陽 八子九孫治中央 壽如金石宜侯王』とあり、子孫の繁栄を祈念しています。当時の中国と直接の外交を行っていた可能性が考えられます。

方格規矩四神鏡 ▶



おおたみなみ

大田南2号墳 京丹後市弥栄町

5号墳の北側にある古墳です。石室内の舟底状の木棺から、龍形の鈕をもつ画文帯環状乳神獸鏡が出土しています。この鏡は、中国でも10数例の出土しかなく、国内では初めての出土です。2世紀後半(後漢)に中国で製作された鏡であり、中国との独自の交易により入手したと考えられます。

◀ 画文帯環状乳神獸鏡

◆ 丹波地域 ◆

くろだ
黒田古墳 園部町

園部盆地の北西にある全長52mの前方後円墳です。後円部にある埋葬施設からは、腐食をまぬがれた木棺をはじめ、鏡、管玉、鉄製品などが出土しました。鏡は、中国製の双頭龍文鏡そうとうりゅうもんきょうで、意図的に割って副葬したと考えられ、当時の葬送の風習を知る上で大変貴重な発見です。これら副葬品や埋葬施設などから築造時期は弥生時代終末期から古墳時代初頭の過渡期の古墳とされ、この一帯を治めていた『王』の墓と考えられています。



▲ 木棺が残っていた埋葬施設



▲ 双頭龍文鏡

◆ 山城地域 ◆

しばがはら
芝ヶ原古墳 城陽市

南北22m、東西18m、高さ4mを測る前方後方墳で、3世紀中頃～4世紀初期ごろに築かれました。副葬品は、日本最初の出土例である銅釧どうくしろや四獣形鏡しじゅうけいきょう、ガラス玉、碧玉製管玉、翡翠製勾玉などとともに、鉄製のヤリガンナ・錐きりなどが出土しました。墳丘に突出部をもつことやカサガイ製の貝輪を模倣した銅釧の出土に加え、副葬品の出土状態や組み合わせがこれまでに例がなく、古墳の出現を考えるうえで重要な遺跡です。



▲ 四獣形鏡



▲ 銅釧

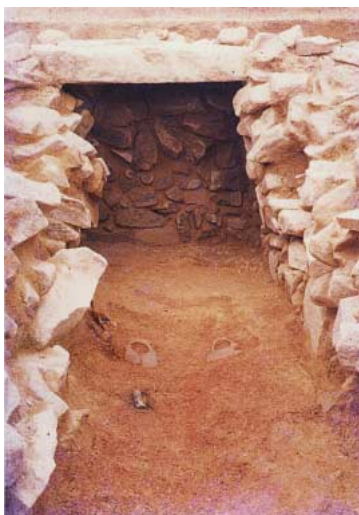
そして『王』になった—古墳時代前期—

前期になると『王』の権力を誇示するように、各地域で大型の前方後円墳や豊富な副葬品をもつ古墳が作られます。副葬品では、中国鏡のほかに、^{くわがたいし}鍬形石や石釧などの石製品、鉄製武器が納められています。鏡は政治と祭儀のなかで呪具・祭器として大きな力をもつようになり、各地域の『王』の権力の証として副葬されます。

◆丹後地域◆

カジヤ古墳 京丹後市峰山町

長径73m、短径55m、高さ9mの丹後地域最大級の大型円墳です。副葬品として、^{ほうかくへんけい}方格変形^{じゅうもんきょう}獣文鏡、^{せきせいわんしよくるい}石製腕飾類、^{つつがたどうき}筒型銅器、玉類などの宝器・装飾品のほか、鉄製武器類や農工具類などが出土しました。これら出土品の組み合わせは畿内色が強く、被葬者が大和政権とつながりをもちはじめたことを示す資料です。



▲ 竪穴式石室



▲ 石製腕飾類



▼ 方格変形獣文鏡

◆丹波地域◆

^{ひろみね}広峯15号墳 福知山市

全長40mの前方後円墳で、埋葬施設から中国では実在しない^{けいしよ}『景初四年』(240)の年号をもつ鏡が発見されました。この鏡は、鈕の周囲に4頭の龍を表現した盤龍鏡で、銘帯には『景初四年五月丙午之日 陳是作鏡 吏人 之位至三公 母人 之保子宜孫 壽如金石兮』と記されています。邪馬台国の卑弥呼が魏に朝貢した翌年にあたる景初四年は、実際は改元され^{せいし}正始元年となっており、中国鏡か否か、今なお決着をみない謎の鏡です。



▲ 埋葬施設



▲ 景初四年銘盤龍鏡

◆ 丹波地域 ◆

そのべかいち
園部垣内古墳 園部町

全長82mの南丹波地域最大の前方後円墳で、割竹形木棺のまわりを囲んだ粘土槨から、三角
縁三仏三獣鏡ほか中国製の鏡3面、仿製鏡3面や石製腕飾類、玉類、武器や武具などの鉄製
品が多量に出土しました。被葬者は、豊富な装飾品と大量の武器類もっていたことから、大和
政権との密接な関係を背景に丹波地域南部を支配した『王』であったと思われます。



▲ 玉類



▲ 石製腕飾類

◀ 割竹形木棺内の副葬品

▼ 出土した鏡



つばいおおつかやま

椿井大塚山古墳 山城町

全長175mの前方後円墳で、墳丘の構造や形は、女王卑弥呼の墓との説もある奈良県桜井市箸墓古墳によく似ています。また、大きさは箸墓古墳のほぼ3分の2の相似形となっています。3世紀後半に築かれ、定型化する初期段階の前方後円墳とされています。この古墳からは、33面以上の三角縁神獣鏡さんかくぶちしんじゅうきょうを含め40面近い中国鏡が出土しています。この三角縁神獣鏡は、全国で500面以上出土しており、大和政権との強い関わりがうかがえます。



▲ 丘陵先端部に築かれた前方後円墳

出土した多数の三角縁神獣鏡 ▶
(写真の鏡は山城町所蔵のレプリカ)



【コラム 大和の王墓の誕生】

3世紀末～4世紀初めにかけて、奈良盆地の東南部に箸墓古墳などの巨大前方後円墳が出現します。これらが大和政権の王墓であるとされ、一般にこの時期から古墳時代が始まるとされています。しかし、いわゆる纏向型前方後円墳まきむくとよばれるホケノ山古墳、勝山古墳、石塚古墳、東田古墳、矢塚古墳などの全長90～100mの古墳は、不定形な前方後円墳の形をしており、初期の前方後円墳とされる箸墓古墳より先に築かれています。これら前方後円墳の分布から、大和政権が3世紀中葉以前に出現していることがわかってきました。

大和政権の中の『王』 —古墳時代中期—

古墳時代中期に入ると、中国や朝鮮半島における軍事的な緊張により、各地域の『王』の性格を大きく変貌させていきました。各地の『王』は、地域支配や大規模な耕地開発を指揮する一方で、軍事の先頭に立つ武人としての性格を強めていきます。副葬品も鏡や石製腕飾品などの祭祀的な宝器から、^{かつちゆう}甲冑などの武器・武具類が多くを占め、より一層軍事色が強くなります。そして、各地域の『王』は、大和政権の中に組み込まれていきます。

◆ 丹後地域 ◆

^{なくおかきた}奈具岡北1号墳 京丹後市弥栄町

丘陵頂部に築かれた全長約60mの前方後円墳です。副葬品には、大型の剣や^{ほこ}鉾などの鉄製武器類が出土し、日本に類例のない銅釦(ボタン)も出土しました。そのほか、朝鮮半島伽耶系の^{とうしつどき}陶質土器・初期須恵器も出土しており、朝鮮半島との関係がうかがえます。



◀ 前方後円墳(上)と弥生時代の玉作り工房の奈具岡遺跡

▼ 陶質土器・初期須恵器



【コラム 丹後地域の大型前方後円墳】

京丹後市^{あみのちやうしやま}網野銚子山古墳は、同^{しんめいやま}神明山古墳(全長190m)と加悦町^{えびすやま}蛭子山古墳(同145m)とともに丹後地域を代表する日本海側最大級の前方後円墳です。全長は190mを測り、4～5世紀にかけて、丹後一帯を広く支配した王の墓といわれています。古墳が築かれた当時、一帯は潟湖と呼ばれる入江になっており、港が各地に設けられていたようです。丹後地域の『王』たちは、農耕よりも海上交易と深く関り大きな力をもっていたと考えられています。



◆ 丹波地域 ◆

きさいちまるやま
私市円山古墳 綾部市

綾部市と福知山市の境に近い由良川中流域の小高い丘陵に築かれた直径71mの円墳です。造り出しをもち、三段に築成された府内最大の古墳です。埋葬施設は3基あり、甲冑などの武具・武器類、鋸齒文鏡、玉類などが出土しました。この時期の丹波地域北部一帯を治めていた『王』の墓と考えられています。



▲ 丘陵頂部に築かれた大円墳



▲ 甲冑が出土した埋葬施設

◆ 山城地域 ◆

いげのやま
恵解山古墳 長岡京市

全長120mの前方後円墳で、乙訓地域では最大級の規模を誇ります。前方部の中央には、副葬品を埋納する施設があり、鉄刀や鉄剣・鉄鎌などの武器類が総数700点近く出土しました。これほどの鉄製品を保有する古墳は、府内はもとより全国的にみても非常に珍しいものです。



▲ 平野部に築かれた乙訓地域最大級の前方後円墳



▲ 大量の鉄製武器類が出土した埋納施設

◆ 山城地域 ◆

あんでらやま
庵寺山古墳 宇治市

城陽市の久津川車塚古墳を盟主墳とする久津川古墳群の最北に位置し、4世紀末ごろに築造された直径56mの山城地域南部で最大級の円墳です。粘土槨と呼ばれる埋葬施設からは、神獸鏡や刀剣、刀子、鉄製農工漁具が出土しました。また、墳丘から大型の靱形埴輪、蓋形埴輪、家形埴輪などが出土しています。



▲ 山城地域南部最大級の円墳



▲ 神獸鏡

くつかわくるまづか
久津川車塚古墳 城陽市

全長183mの三段築成の前方後円墳です。外濠までを含めた全長は272mを測り、山城地域最大の規模です。墳丘斜面に葺石をふき、段や外堤に埴輪列を幾重にもめぐらせた5世紀中頃の大型古墳です。長持形石棺の中には、甲冑や鏡、玉類、武器などが多量に納められており、被葬者のもっていた軍事力の大きさ、権力の強さが想像されます。また、この石棺は大王の棺と同じ兵庫県竜山石を使っていることから、山城地域南部全域を治めた5世紀前半の『王』の墓といえます。



▲ 久津川古墳群と久津川車塚古墳(中央)



長持形石棺の中から出土した鏡 ▶

ふたごやま
二子山古墳群 宇治市

宇治川流域の東側の丘陵にある2基の古墳群です。北墳が中期中頃、南墳が中期後半に築されました。北墳は径42mの円墳で、鏡や玉類をはじめ甲冑などの武具、刀剣や農工具などの鉄製品が出土しました。南墳は一辺36mの方墳で、鏡・玉類、武具・武器類、馬具とともに三環鈴という珍しい遺物が出土しました。豊富な副葬品から、被葬者は東国への水路・陸路の交通の要衝であるこの地を支配していた『王』であったことがうかがえます。



▲ 北墳から出土した甲冑



▲ 南墳から出土した四葉文鏡

かわらづか
瓦塚古墳 宇治市

直径30mの円墳で、埋葬施設は、後世に荒らされていましたが、発掘調査によって勾玉・管玉・ガラス小玉が600個出土しました。盗掘されてなお、これほどの遺物が出土していることから多量の玉類が副葬されていたことが考えられます。また、日本では2例しかないという珍しい金杖・銀杖が出土しました。朝鮮半島でつくられた金製・銀製の金具で『王』の杖先を飾った宝器は、被葬者の権威を高める道具として光り輝いていたと考えられます。



▲ 旧巨椋池を望む円墳

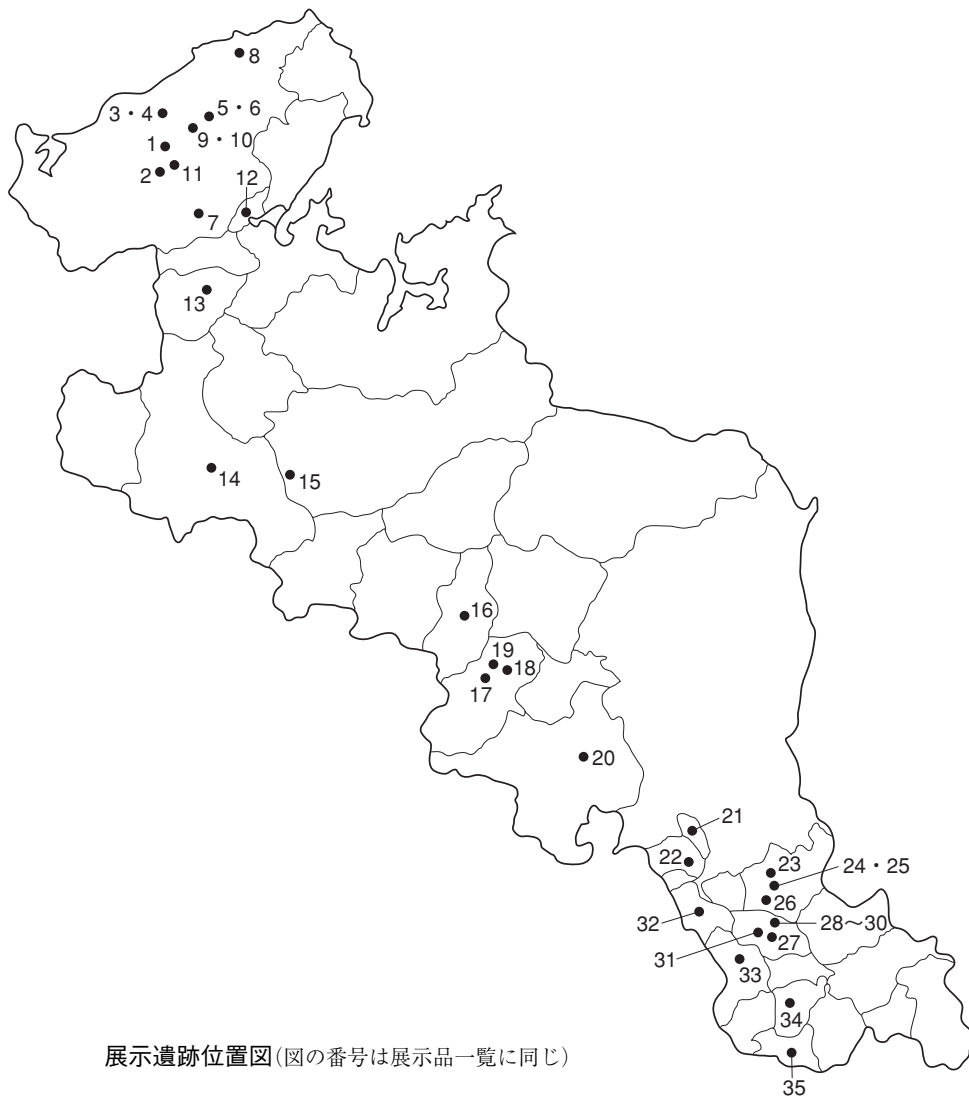


▲ 銀杖(左)と金杖(右)

展示品一覧

遺跡名	指定	品目	点数	時代	所蔵・保管
1 赤坂今井墳丘墓		玉頭飾り	1	弥生後期	京丹後市教育委員会
2 古殿遺跡		木製案	1	古墳前期	当センター
3 浅後谷南遺跡		木製導水施設	1	〃	〃
		刀子型石製品	1	〃	〃
4 浅後谷南墳墓群		玉頭飾り	1	弥生後期	〃
		鉄器	11	〃	〃
5 奈具岡遺跡	◎	玉作り関係遺物	10	弥生中～後期	〃
6 奈具岡北1号墳	●	鉄器類	2	古墳前期	〃
	●	銅釦	2	〃	〃
	●	陶質土器	3	〃	〃
7 三坂神社墳墓群	●	環頭大刀	1	弥生後期	京丹後市教育委員会
	●	鉄器	3	〃	〃
	●	ガラス玉類	一括	〃	〃
	●	水晶玉	一括	〃	〃
8 高山12号墳	○	金銅装大刀柄頭	1	古墳後期	〃
9 大田南2号墳	●	画文帯神獸鏡	1	古墳前期	〃
10 大田南5号墳	◎	方格規矩鏡	1	〃	〃
11 カジヤ古墳	□	獸文鏡	1	〃	〃
	□	筒形銅器	1	〃	〃
	□	石製椀飾類	8	〃	〃
12 大風呂南墳墓		ガラス釦※	1	弥生後期	岩滝町教育委員会
13 作山古墳		円筒埴輪	1	古墳前期	加悦町教育委員会
14 広峯15号墳	◎	景初四年銘鏡	1	〃	福知山市教育委員会
15 私市円山古墳	●	甲冑	1	古墳中期	綾部市教育委員会
16 塩谷5号墳	●	巫女埴輪	2	古墳後期	丹波町教育委員会
17 黒田古墳	●	双頭龍文鏡	1	古墳前期	園部町教育委員会
	●	管玉	一括	〃	〃
	●	鉄鏃	4	〃	〃
		復原模型	3	〃	〃
18 園部垣内古墳	◎	鏡	6	〃	〃
	◎	石製椀飾類	4	〃	〃
	◎	銅鏃	4	〃	〃
	◎	石製鏃	8	〃	〃
	◎	鉄器	3	〃	〃
	◎	玉類	一括	〃	〃
		模型	2	〃	〃
19 今林古墳群		鏡	2	古墳前期	当センター
		短甲	1	〃	〃
20 時塚1号墳		盾持ち人形埴輪	1	古墳中期	〃
21 寺戸大塚古墳		円筒埴輪	3	古墳前期	向日市教育委員会
22 恵解山古墳	●	鉄器	10	古墳中期	長岡京市教育委員会
23 瓦塚古墳		金・銀杖	2	〃	宇治市教育委員会
		玉類	一括	〃	〃
24 二子山北墳	●	甲冑	1	〃	〃
25 二子山南墳	●	四葉文鏡	1	〃	〃
	●	三環鈴	1	〃	〃
26 庵寺山古墳		神獸鏡	1	〃	〃

遺跡名	指定	品目	点数	時代	所蔵・保管
27 芝ヶ原古墳	◎	四獣形鏡	1	古墳前期	城陽市教育委員会
	◎	銅釧	1	〃	〃
		銅釧※	1	〃	〃
28 上大谷6号墳		き鳳鏡	1	古墳前期	〃
29 上大谷9号墳		龍鏡	1	古墳中期	〃
32 上大谷15号墳		飛禽文鏡	1	古墳前期	〃
31 久津川車塚古墳		鏡※	3	古墳中期	〃
32 ヒル塚古墳		方格規矩鏡	1	古墳前期	八幡市教育委員会
		飾り付き鉄剣	1	〃	〃
33 堀切7号墳	○	人物埴輪	1	古墳後期	京田辺市教育委員会
34 椿井大塚山古墳		鏡※	3	古墳前期	山城町教育委員会
35 瓦谷古墳群		獸首形鏡	1	〃	木津町教育委員会
		甲冑	1	〃	〃
		円筒埴輪	1	〃	〃



展示遺跡位置図(図の番号は展示品一覧に同じ)